

---

# 妹子と太子が勇者になったそうです

次陣村

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

妹子と太子が勇者になったそうです

### 【Nコード】

N4024N

### 【作者名】

次村陣八

### 【あらすじ】

何時もの様に過ごす太子と妹子。

しかしその生活に異変が！

\*かなり短いです\*続編あり、現在制作中（何時になるかわからないが）\*キャラ崩壊がもしかしたらあるかも

**（前書き）**

やってしまった。やってしまいました。ま、後悔も反省もしてないけど（笑）

皆さんおはようございます。僕は遣隋使で有名な小野妹子です。  
今は知らない国の王様と会話をさせられています。  
どうしてこうなったかというと、それは一時間前にさかのぼる。

\*\*\*\*\*（ここから先はマンガ風、第  
三人称視点です）

「どうしたんですか、太子？今日は元気ないですね、押し黙っちゃ  
って。」

「うん…いや、どうもしないよ。ほら、カニを食べると無口になる  
っていうだろ…」

「いやあんた今カニ食ってないだろ！」

何時もこんなコントから始まる会話は、小さな丘に座ってる聖徳太  
子ンと小野妹子によるものだった。

「うん…実は今考えてる謎々のキレが悪いんだ。」

「切れが悪いのいつものことでしょうか太子」

「酷い…」

またまたコントを始める妹子と太子。そんな時だった！

「ん？あれは何でしょうか太子？」

遠くに飛んでいるUFOを指さしながら。

「ああ、あれはフィッシュ竹中さんの飛行艇だよ？」

「ええ！そうなの！」

「君も墨汁戦隊スミレンジャーの一員だったらちゃんと覚えておくのだぞ！」

「だから何ですか！スミレンジャーって！」

こんな言い合いしながら近づいてくるUFO、遂には二人の頭上に到着し

「うわ！なんですかこれは！」

二人を吸い上げた。

\*\*\*\*\*

そして冒頭に戻る。

「おお、よく来てくれた。」

王様（イメージとしては白血球王（偽）を想像してほしい）は話しかけてくる。

「何なんでしょうね、この人は。」

「私に聞かれても困るな」

「そうですか…つきり太子の親友がと思いましたよ」

「どういう意味だこらー！」

因みに上の会話はすべて小さい声、ぶっちゃけヒソヒソばなしである。

「とにかくいきなり人を攫うような輩ですから、まずは様子を見ましょう。」

「そうか、そうだな。私今日肌ざらざらだし」

「だからあんたの肌はどうでもいいよ！」

「名を名乗れよ、我が国の英雄よ…」

「えと、この人はうんこ大好き、『うんこ丸』君です」

『ガーン』

「そして僕はええと…」

「ケツ妹子です！」

『ガーン』

「ちょっと太子何言ってるんですか！」

「え？違うの？」

「違うわボケエエ！」

「そうか、それでは改めて言わせてもらう。うんこ丸君、ケツ妹子殿。この国を救っていただけますか？」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4024n/>

---

妹子と太子が勇者になったそうです

2010年10月9日16時58分発行